



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月2日

上場会社名 ナカバヤシ株式会社

上場取引所 東大

コード番号 7987 URL <http://www.nakabayashi.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 辻村 肇

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長

(氏名) 作田 一成

TEL 06-6943-5555

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	21,648	0.1	△118	—	5	△94.3	△61	—
23年3月期第2四半期	21,623	△1.1	△93	—	103	△50.2	△44	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △281百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △348百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△1.11	—
23年3月期第2四半期	△0.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	42,407	18,275	41.7
23年3月期	43,517	18,724	41.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 17,667百万円 23年3月期 18,089百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,500	2.8	1,200	50.0	1,400	30.5	500	19.6	8.97

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	61,588,589 株	23年3月期	61,588,589 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	5,861,472 株	23年3月期	5,858,476 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	55,728,978 株	23年3月期2Q	55,736,982 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注記事項等につきましては、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(単位：百万円)

	平成23年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第2四半期	増減額
売上高	21,623	21,648	24
営業損失(△)	△93	△118	△24
経常利益	103	5	△97
四半期純損失(△)	△44	△61	△17

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞からサプライチェーンの復旧や個人消費の回復により持ち直しの兆しが見られたものの、欧米諸国の財政問題等による世界経済の減速や円高の進行などにより、景気の先行きは依然不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは平成23年6月に創立60周年を迎え、60周年フェア、キャンペーン、広告など積極的な営業活動を展開してまいりました。7月には恒例の「ナカバヤシグループ新製品発表会」を開催するなど、新製品の拡販に努めました。製品販売部門のステーションナリー関連事業は、新製品の販売が好調で順調に推移いたしました。受注部門である印刷製本関連事業は市場環境の急速な変化に柔軟に対応するため、新たなビジネス展開を構築中であります。なお、連結子会社のロアス株式会社は平成23年6月末に解散し、同社が行っていた事業は当社及び連結子会社が引き継いでおります。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比0.1%増の216億48百万円となりました。

一方利益面では、販売費及び一般管理費は若干減少しておりますが、原価率がやや上昇し営業損失は1億18百万円(前年同四半期営業損失93百万円)となり、営業外収益の減少もあり経常利益は5百万円(前年同四半期比94.3%減)と採算が悪化いたしました。

また、特別利益は投資有価証券売却益など、合計で1億26百万円を計上し、特別損失は固定資産処分損など、合計で49百万円を計上いたしました。この結果、法人税等税負担調整後の四半期純損失は61百万円(前年同四半期四半期純損失44百万円)となりました。

なお、セグメントの状況は以下のとおりです。

①印刷製本関連事業

図書製本につきましては、製本需要の縮小により売上高は減少し依然厳しい状況にありますが、公共図書館からの受託業務や資料保存、デジタル化などの拡充に努めました結果、受注高はやや回復の兆しがあります。ビジネスフォームにつきましては、ペーパーレス化の進行により市場環境は急速に変化しておりますが、BPOへ展開可能な新規物件の受注に取り組みました。また年玉手帳は新規顧客の開拓に注力し売上高は増加いたしました。競争の激化により採算性は低下いたしました。

この結果、当事業の売上高は106億66百万円(前年同四半期比1.2%減)、営業損失は1億3百万円(前年同四半期営業利益20百万円)となりました。

②ステーションナリー関連事業

専門店、GMS、雑貨専門店、カメラチェーン店などへの販売強化を図るとともに、通販・ネット販売への取り組みを強化するとともに、新規顧客の開拓などに注力いたしました。新製品の小型スキャナ「フォトレコ」や水を入れると発電する電池「水電池NOPOPO」などの売上が好調に推移いたしました。また、連結子会社のフランクリン・プランナー・ジャパン株式会社が販売するシステム手帳「フランクリン・プランナー」も堅調に推移いたしました。フォトブックにつきましては、「フェルプロASP」サービスや写真館製本事業の確立に努めました。

この結果、当事業の売上高は61億61百万円（前年同四半期比4.6%増）、営業利益は75百万円（前年同四半期比19.7%減）となりました。

③環境事務機器関連事業

大型シュレッダにつきましては、循環型リサイクルシステムの事業を推進し環境関連製品の販売強化や新規顧客の開拓に注力いたしました。また選別受注などにより採算面の改善に取り組みました。中小型シュレッダにつきましては、大手民間企業を中心とした販売強化の取り組みにより売上高は増加いたしました。

この結果、当事業の売上高は11億56百万円（前年同四半期比9.8%増）、営業損失は26百万円（前年同四半期営業損失79百万円）となりました。

④PC周辺機器関連事業

家電量販店向けのLANケーブル、USB扇風機、熱中症計などが順調に推移いたしました。また、変圧器など海外旅行先でのPC周辺機器やグッズの販売強化に取り組みました。一方で平成23年6月末で解散した連結子会社のロアス株式会社の採算性は低下いたしました。

この結果、当事業の売上高は15億59百万円（前年同四半期比11.6%減）、営業損失は21百万円（前年同四半期営業損失13百万円）となりました。

⑤ベビー&シルバー関連事業

チャイルドシートは低価格帯製品における競争が厳しくなっており、売上高は減少いたしました。一方、ベビー関連製品として「パントユニバース・バギー」を新発売し拡販に努めました。高齢者向け福祉用具につきましては、シルバーカーや軽量・コンパクトの歩行車の新規開発を図り販売強化に取り組みました。

この結果、当事業の売上高は9億88百万円（前年同四半期比0.6%減）、営業利益は63百万円（前年同四半期比19.3%減）となりました。

⑥その他

その他は、連結子会社の日達物流株式会社が営む貨物運送事業やウーマンスタッフ株式会社が営む人材派遣業などであり、売上高は11億16百万円（前年同四半期比1.1%減）、営業利益は34百万円（前年同四半期比10.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて9億55百万円減少し、199億73百万円となりました。これは商品及び製品が4億87百万円、仕掛品が3億99百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が10億80百万円、受取手形及び売掛金が10億61百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1億54百万円減少し、224億34百万円となりました。これは土地が1億23百万円、繰延税金資産（固定資産の「その他」）が1億29百万円それぞれ増加しましたが、投資有価証券（固定資産の「その他」）が3億2百万円、機械装置及び運搬具（固定資産の「その他」）が1億40百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結累計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて11億9百万円減少し、424億7百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて22億4百万円減少し、133億69百万円となりました。これは賞与引当金が2億16百万円、未払金（流動負債の「その他」）が1億75百万円それぞれ増加しましたが、短期借入金が21億63百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて15億43百万円増加し、107億63百万円となりました。これは、長期借入金が15億91百万円増加したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結累計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて6億60百万円減少し、241億32百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4億49百万円減少し、182億75百万円となりました。これは利益剰余金が2億28百万円、その他有価証券評価差額金が1億78百万円それぞれ減少したことなどによります。

（自己資本比率）

当第2四半期連結累計期間末の自己資本比率は41.7%となり、前連結会計年度末に比べて0.1ポイント上昇いたしました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月2日発表時の通期業績予想の修正は行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,641	3,560
受取手形及び売掛金	9,618	8,557
商品及び製品	3,914	4,402
仕掛品	848	1,247
原材料及び貯蔵品	1,172	1,195
その他	780	1,058
貸倒引当金	△48	△48
流動資産合計	20,928	19,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,458	5,352
土地	10,787	10,911
その他(純額)	2,905	2,822
有形固定資産合計	19,151	19,086
無形固定資産		
のれん	250	214
その他	273	381
無形固定資産合計	524	595
投資その他の資産		
その他	2,987	2,800
貸倒引当金	△73	△48
投資その他の資産合計	2,913	2,752
固定資産合計	22,589	22,434
資産合計	43,517	42,407

ナカバヤシ(株) (7987) 平成24年3月期 第2四半期決算短信

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,586	6,024
短期借入金	5,633	3,470
未払法人税等	307	348
賞与引当金	485	701
その他	2,561	2,823
流動負債合計	15,573	13,369
固定負債		
長期借入金	5,331	6,923
退職給付引当金	3,454	3,529
役員退職慰労引当金	32	18
その他	400	291
固定負債合計	9,219	10,763
負債合計	24,792	24,132
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,666	6,666
資本剰余金	8,740	8,740
利益剰余金	3,711	3,482
自己株式	△1,333	△1,333
株主資本合計	17,784	17,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	265	87
繰延ヘッジ損益	6	△10
為替換算調整勘定	32	34
その他の包括利益累計額合計	304	112
少数株主持分	634	607
純資産合計	18,724	18,275
負債純資産合計	43,517	42,407

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	21,623	21,648
売上原価	15,880	15,931
売上総利益	5,743	5,717
販売費及び一般管理費	5,837	5,835
営業損失(△)	△93	△118
営業外収益		
有価証券売却益	1	—
受取保険金	92	76
受取賃貸料	75	66
その他	156	98
営業外収益合計	325	240
営業外費用		
支払利息	82	63
貸与資産諸費用	26	24
その他	20	28
営業外費用合計	129	116
経常利益	103	5
特別利益		
固定資産売却益	12	0
投資有価証券売却益	4	115
貸倒引当金戻入額	6	—
その他	7	10
特別利益合計	29	126
特別損失		
固定資産処分損	2	38
投資有価証券評価損	63	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	56	—
その他	0	10
特別損失合計	123	49
税金等調整前四半期純利益	9	82
法人税、住民税及び事業税	152	319
法人税等調整額	△76	△147
法人税等合計	76	172
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△66	△89
少数株主損失(△)	△21	△28
四半期純損失(△)	△44	△61

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△66	△89
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△252	△176
繰延ヘッジ損益	△22	△16
為替換算調整勘定	△7	1
その他の包括利益合計	△282	△191
四半期包括利益	△348	△281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△319	△254
少数株主に係る四半期包括利益	△28	△26

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。